

市内3中学校が地域密着の授業を展開

市内の3中学校は「総合的な学習の時間」の一環で、地域住民と協力した地域活性化などに取り組んでいます。

遠野中の3年生148人は「遠野を盛り上げるプロジェクト」と題し、地域活性化を目指すさまざまなプロジェクトを企画。6月1日には、同校の体育館で自分たちが考案した企画を発表し、参加した市民に企画実現への協力を呼びかけました。今後は企画に賛同してくれた協力者と共にアイデアを実行に移し、10月の文化祭でその成果を発表する予定です。

遠野西中の3年生37人は6月2日、農事組合法人宮守川上流生産組合と協力し、同組合の山菜畑でフキの収穫作業を行いました。畑の管理者である佐々木正光さん(宮守町宮守)の指導の下、123kgを収穫。収穫したフキは加工・販売され、その売り上げの一部を東日本大震災の復興支援金にする予定です。

遠野東中の2年生54人は、8月の職場体験学習に向け、計3回の職業講話を実施。2回目は6月7日に同校の体育館で行い、(株)栄組(上郷町)の佐々木栄洋専務取締役を講師に、建設業の仕事内容や建設業協会遠野支部が展開する地域貢献活動について学びました。生徒は、地元企業と地域の関わりについて理解を深め、自身の進路について考えました。



◀6月1日/遠野中
協力団体に自分たちの企画を発表

▶6月2日/遠野西中
初めてのフキ取り！食べられるフキを選んで収穫します



◀6月7日/遠野東中
講師の質問に積極的に答える生徒

6月18日 ふるさと創生吟詠・吟舞道大会

吟詠・吟舞の愛好家が集結

遠野吟詠会創立30周年と遠野吟舞会創立25周年を祝う大会(両会主催)が、市民センター大ホールで開催されました。市内外から35団体、300人が参加。吟詠団体は、声を合わせて



遠野吟詠会と遠野吟舞会による発表

詩歌を高らかに吟じたほか、吟舞団体はそれに合わせて華やかな舞を披露。観客は、吟詠と吟舞の独特の世界感に酔いしました。

6月19日 100歳の長寿をみんなで祝福

宮守町の伊藤カネヨさん100歳

伊藤カネヨさんの誕生会が自宅で開催されました。花束と記念品が贈られると、カネヨさんはにっこりと微笑みしました。大正5年に4人兄弟の長女として宮守町に生まれ、19



家族らに祝福されるカネヨさん

歳で長悦さん(故人)と結婚。農業や酪農などに励み、2男4女を育て上げました。現在は孫やひ孫計22人に恵まれ、穏やかに過ごしています。

6月26日 第41回東北馬力大会馬の里遠野大会

人馬一体の力強いレースに熱狂

第41回東北馬力大会が宮守町柏木平優遊広場特設会場で開催され、市内外から約5千人が詰めかけました。レースは300kg〜975kgの重りを載せたそりを引き、2つの坂を乗り越えるタイムを競うもの。新馬から一流馬まで33頭が出走しました。人馬一体となって坂を乗り越える大迫力のレースに、観客は手に汗を握りました。



障害を駆け上がる出走馬

5月25日 100歳の長寿をみんなで祝福

青笹町の小時田コイシさん100歳

小時田コイシさんの誕生会が自宅で開かれました。花束と記念品が贈られると、コイシさんは「ありがとうございます」と感謝しました。大正5年に住田町に生まれ、24



家族らと100歳を祝うコイシさん

歳で貞太郎さん(故人)と結婚。農業に励みながら1男5女を育て上げました。現在は12人の孫に囲まれ、元気に過ごしています。

6月12日 早池峰山山開き

登山シーズンの幕開け！

日本百名山に数えられ、遠野三山の一つである早池峰山が山開きを迎え、約1,200人の登山客でにぎわいました。小田越登山口で入山式を行った後、登山客は山頂を目指して



快晴の下で登山を楽しみました

出発。山頂では安全祈願祭が行われ、早池峰・岳神楽保存会が権現舞を奉納したほか、登頂した人などに記念品の絵馬が手渡されました。

5月24日 青笹小で東北電力スクールサイエンス教室

おもしろ実験に挑戦！

東北電力が、未来を担う子どもたちの成長を応援することを目的に企画。サイエンスインストラクターの阿部清人さんを講師に、児童は科学のおもしろさを学びました。阿部さんが、音の仕組みやLED電球の特徴を解説する実験、巨大空気砲の実験などを披露すると、児童は歓声を上げていました。



科学のおもしろさを伝える阿部さん

6月11日 市緑化祭「里山フェスタ2016」開催

緑あふれる里山を次の世代へ

梨ノ木平市有林で開催され、参加した地域住民や市内森林愛護少年団ら241人は、植樹体験を通じて、森林の役割や里山を守ることの大切さに理解を深めました。参加者は



たくさんの人が植樹に協力

コナラの苗木を植樹したほか、未利用材をチップ化するチップパーの実演を見学。最後に記念標柱を設置し、植樹完了を喜びました。

市内各地で田植え体験

地域の先輩に学ぶ米作り

本格的な農業シーズンを迎え、子どもたちに食の生産現場を知ってもらおうと、市内各地で地域住民らが田植え体験を開きました。

5月24日、青笹町の上閉伊酒造(株)は、日本酒ができるまでの過程を理解してもらおうと、同社裏の田んぼで田植え体験を開催(写真1)。青笹小の児童が、酒米にな

るひとめぼれを植えました。土淵町の遠野みらい創りカレッジは同26日、農事組合法人遠野こがらせ農産と連携して開催(写真2)。地域住民らの指導の下、土淵小の児童はカレッジの近くにある田んぼに、苗を1本1本丁寧に植えました。

秋には収穫体験も行う予定です。

